学校番号	312

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身につけ、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、
消費生活・環境などの基礎知識を深める。
【思考・判断・表現】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想、実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につける。
【主体的に学習に取り組む態度】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、
生活文化を継承し、自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ＊食品実験 ○食事と栄養・食品	a：自分の食生活を振り返り、学習した内容を自らの食生活に活用しようとする意欲や態度がみられる b：健康や環境に配慮した食生活の在り方について課題解決に向けて考え、工夫することができる c：主体的に食生活を営むために必要な栄養、食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身につけている	定期考査 小テスト 行動観察	プリント レポート 実習記録	行動観察 プリント 実習記録 ポートフォリオ
		○調理の基礎 ＊調理実習 ○食品の選択と安全				
2学期		○食生活の文化と知恵 ○これからの食生活		定期考査 小テスト 行動観察	プリント レポート 製作記録	行動観察 プリント 製作記録 ポートフォリオ
	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもと関わる ＊保育教材作り ○これからの保育環境	a：子どもの発達・保育・福祉について関心をもち、主体的に学ぼうとする意欲や態度を身につけている b：子どもに関わる課題や問題について、その原因や対応について考えることができる 子どもの心身を健全に育む技術を身に付けている。 c：子どもを育てるために必要な知識を身につけ、活用についても理解している			
3学期				定期考査 小テスト 行動観察	プリント レポート 作品 製作記録	行動観察 プリント 製作記録 ポートフォリオ
	持続可能な生活	○持続可能な消費生活・環境をめざして	a:生活と環境、持続可能な消費について理解している b:持続可能な社会をめざして主体的に行動できるように、自分のライフスタイルについて問題を見いだして、解決策を構想、実践、評価、改善する力を身につけている c:様々な人々と協働し、持続可能なライフスタイルについて、自分や家庭、地域の生活向上を図るために実践しようとしている			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度